

# あらかわ産業ナビ

荒川区  
Vol.184  
令和8年(2026年)  
3月21日

「あらかわ産業ナビ」は荒川区産業経済部が年間6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行する産業情報紙です。区内事業者や団体などを対象に7,000部を配布しています。

## 【株式会社Care Light】荒川区ビジネスプランコンテスト2025「最優秀賞」受賞

# 地域生活を支える訪問介護の新基軸

荒川区ビジネスプランコンテスト2025は、株式会社Care Lightが実施する訪問介護サービス事業が、最優秀賞に加えて、当日のプレゼンテーションでオーディエンス賞を受賞。代表の藤本将和さんに、事業を起ち上げた背景や今後の抱負などを聞きました。

## 介護の負担を「軽く」シニアの生活を「明るく」

最優秀賞を受賞した藤本さんの事業プラン「ケアライト」は、自費に特化した訪問介護サービスです。審査員から「高齢化社会のインフラとして成長のポテンシャルが高い」「社会的課題として最も重要な分野」と高く評価されました。訪問介護サービスは、介護保険制度の中では、通院の付き添いや家族の手伝いなどは対象外。ケアライトは、介護福祉士の有資格者が地域のケアマネジャーや関係機関と連携しながら、自費サービスならではの柔軟さで、利用者の声に応じています。また、業務のデジタル化を進め、家族への報告にはスマホを活用。働きながら介護に関わるビジネスケアラームも支えています。

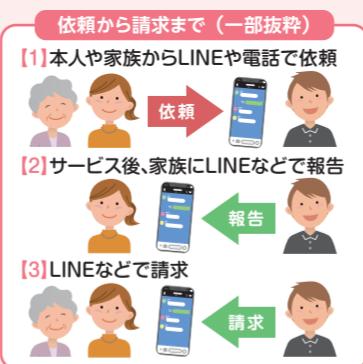
社名の「Care Light」には、介護(Care)の負担を「軽く(Light)」すること、シニアの生活を「明るく(Light)」照らすことの2つの意味が込められています。サービス名は呼びやすいようにカタカナ表記にしました。藤本さんは、オーディエンス賞を同時に受賞したことについて「会場の共感を得られたのは、困っている人がそれだけ多いということ。身が引き締まる思いです」と話します。荒川区で創業した理由については、23区のなかでも柔軟に対応できる自費サービスの需要が高く、起業環境も整っていたことを挙げてくれました。区内での実績を基礎に、隣接区へ、そして更なる事業拡大を目指しています。



株式会社Care Light 代表取締役 藤本将和さん

### 《最優秀賞プラン》「ケアライト」をご紹介

「ケアライト」は、介護保険外の柔軟なサービスと介護福祉士が対応する安心感を兼ね備えた訪問介護です。最大の特徴は、「20分単位(1,089円)」の料金設定。「1時間では長い5分では短い」という現場の声に応えました。申請に時間のかかる保険サービスとは異なり「最短当日」の利用が可能で、急な体調不良や退院にも対応。高齢者と家族の日常生活を支えます。運営面では予約・報告・請求のDX化を徹底し、バックオフィス業務を18%から10%に圧縮。浮いたリソースを質の向上に還元しています。Webを使った新規集客を強化し、デジタルに強い家族層への認知を拡大中。荒川区での黒字化モデルを基盤に、今後、東京23区全域へと展開を目指したプランです。



### 病院付き添い定額プランと分かりやすいLINE報告

人気のサービスの1つに通院支援があります。病院での待ち時間

の不安を解消する「病院付き添い定額プラン(区内6,050円)」を用意。医師からの専門的な説明を、有資格者が噛み砕いてLINEなどで家族へ報告する仕組みも、多くの家族から高く評価されています。

### お買い物や散歩への同行も人気のサービスです

同居家族がいる方の買い物、趣味の散歩を兼ねた外出などにも柔軟に対応しています。



●受診結果の報告例  
【総論:経過観察を継続】  
・血液検査の結果、数値は問題なし。  
・HbA1cの数値は前回6.9→今回6.8です。  
・引き続き運動療法を継続してください。  
とのことです。



## 建築から介護へ! 知見を融合して挑む新事業

藤本さんは大学で建築学を専攻。介護施設を卒業設計テーマにして調べるうちに、介護そのものへの関心が高まり、建築系の内定を辞退して介護の現場へ飛び込みます。その後、介護施設に関わる大手情報サービス企業で、DX業務や現場調査、事業開発などに従事。そのなかで、介護保険制度の枠外にある「家族の負担」という構造的な課題に直面します。現実とのズレを埋めるためには「機動力」が必要と考え、独立して訪問介護事業を始めました。今後は、シニア向けのスマホ教室や亡くなった後の手続きへの支援などの新規事業も計画。これまでの現場経験と知見を融合させて、高齢者の地域生活を支える新たな「社会インフラ」の構築に挑んでいます。



1 左から、仙石さん(相談担当)、藤本さん(所長・訪問サポート担当)、中村さん(訪問サポート担当)。2 城北信用金庫が運営する町屋の創業支援オフィス「COSA ON」に入居中。

【Profile】藤本将和(ふじもと・まさかず)大阪府出身。介護福祉士。学生時代の介護施設研究、介護現場やシステムの知見をもとに、2024年に株式会社Care Lightを創業。

【問合せ】株式会社Care Light [TEL]03-6555-4921  
【住所】荒川区町屋1-3-12-208 [公式サイト]https://carelight.jp



## 荒川区ビジネスプランコンテスト2025

区では、区内での起業や新分野進出を計画する意欲あふれる事業者を応援しています。ビジネスプランコンテストは隔年で実施しており、今回が7回目の開催。主要3賞と奨励賞の受賞者をご紹介します。



優秀賞 関根史人さん(株式会社ロボットスポーツゲームズ・代表)

### ロボスポ専用ロボットキットの開発と販売

手作りロボットを操縦してスピードやポイントを競い合うのが「ロボットスポーツ」。競技用ロボットキットの製作・販売を通じて、新しく楽しい文化の拡大を目指します。

城北信用金庫賞 砥上友香さん(和株式会社・代表)

### 地域資源と和食で魅了する新コト消費の事業

訪日外国人向けの体験型飲食事業。和菓子・和食と自社ブレンドの日本茶との組み合わせを基本に、地域のお店や伝統工芸品とも連携して荒川区ならではの事業を展開します。

奨励賞 矢内篤さん

### 荒川区と共創

### ~次世代のイノベーター育成~

金融リテラシーやビジネス、起業について学ぶ教育プログラム。地域企業や商店街とも連携し、子ども達の創造力や社会性、実践力を育みます。

奨励賞 金澤義富さん

### 荒川区で働くひとの

### 心と体を運動で整える

相談と運動プログラムを組み合わせ、働くひとの健康をサポート。不調になる前からの「積極的メンタルヘルスクア」を先駆的に進めます。

奨励賞 多賀太さん

### 荒川遊園で知育ラボ!

### AIで培う新たな感性

動物や昆虫について楽しく学ぶ知育アプリ。荒川遊園の中で、カメラ撮影した生き物と会話するように、鳴き声や生態を知ることができます。

### 最優秀賞以外の受賞者をご紹介します

東京商工会議所荒川支部会長賞

伊藤智行さん(工房奥谷・代表)

### デジタルオーダーメイド型紙の販売

3Dスキャンにより、お客様の身体にフィットした服の型紙を製作する事業。美しいシルエットと着心地を提供するだけでなく、デザインアレンジの自由度が大きく高まります。

奨励賞 天野亜弥子さん(Earth&Health・代表)

### 荒川区発!科学で変わる街ぐるみ健康革命

行動科学・栄養学・心理学を応用した、地域や人と繋がりがながら実践する健康プログラム。健康寿命の延伸と社会的孤立の解消に寄与します。

奨励賞 増淵加奈子さん(暮らしの思想・代表)

### 本と花で拓く商店街の文化拠点

ブックディレクターと華道家が手がける、文化拠点的な店舗。読書会や映画会なども行い、地域での交流や商店街の賑わい創出に寄与します。

## 令和8年度の主な産業施策 荒川区産業振興施策紹介

# 活力ある地域経済と賑わいのあるまちづくりへ

令和8年度予算における「産業革新都市」の実現に向けた施策の予算額は、43億9,100万円。このうち、新たに開始する事業、拡充する事業の概要は下記のとおりです。

区では今後も、変化する時代のニーズに的確に対応しながら、引き続き地域経済の持続的な発展につなげてまいります。

※各種補助金には要件があります。詳細はお問い合わせください。

### 1 区内消費を喚起するデジタルプレミアム付きお買い物券の発行

【充実】1億3,635万円

区内店舗におけるキャッシュレス化を促進し、利用客の拡大と区民の利便性向上を図るため、商店街連合会との連携により、従来の紙のプレミアム付きお買い物券に加えて、新たにデジタルによるプレミアム付きお買い物券を発行します。



【問合せ】産業振興課 商業振興係 (TEL)03-3802-4674

### 2 経営基盤強化のための「持続的成長プロジェクト(ASC)」の推進

【新規・充実】4億9,764万円

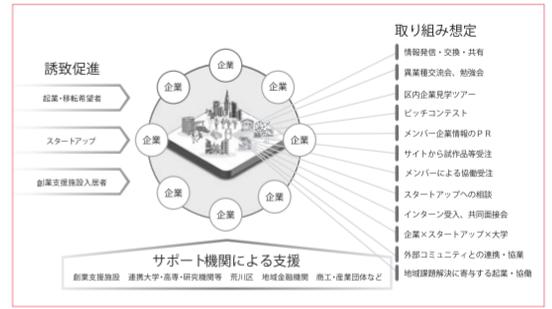
地域企業が人手不足や生産性向上などの喫緊の経営課題に対応し、経営基盤の強化や持続的な成長が図れるよう、賃上げ・健康経営・デジタル化・資金繰りへの支援を大幅に拡充します。

【問合せ】経営支援課 経営支援係 (TEL)03-3802-4808

### 3 地域経済活性化のための「モノづくり企業エコシステム」の構築

【新規】36万円

スタートアップ企業の誘致促進とともに、スタートアップ・大学・地域企業との連携を強化し、区内産業の創出を推進するため、「(仮称)あらかわモノづくり企業エコシステム」の構築に向けた検討を行います。



【問合せ】経営支援課 経営支援係 (TEL)03-3802-4808

### 4 来街者の満足度を高める観光資源の発掘と賑わいの創出

【充実】4,685万円

区内を走る鉄道をテーマにした新たな謎解きイベントの実施により、地域周遊型の観光体験を提供し、これまで気づかれなかった街の魅力や観光資源の発掘につなげます。

また、SNSの積極的活用、観光Webサイトや観光マップの充実化などにより「街の魅力」を広く発信するほか、第40回を迎えた川の手荒川まつりで記念事業を実施し、地域におけるさらなる賑わいの創出を図ります。



【問合せ】観光振興課 観光振興係 (TEL)03-3802-4689

4月29日  
(水・祝)  
10時~16時

うれしい!楽しい!おいしい!

二大祭りを同時開催!

【会場】南千住野球場(荒川区南千住6-45-6)

## 4月29日は南千住野球場へGO!!

### 第40回 | 川の手荒川まつり

区内団体による出店や交流都市の名産品を販売する「ふるさと市」、「どじょうのつかみどり」など子どもから大人まで楽しめるさまざまな催しをご用意しています。区内学校の吹奏楽部によるパレードやキャラクターショーなども開催予定。ぜひお越しください。【問合せ】観光振興課 (TEL)03-3802-4689



### 第47回 | 商業祭

区内の商店・商業者が多数出店する人気の「商業祭バザール」、飲食品を販売する「模擬店」などのほか、締めくくりには区内共通お買い物券や豪華賞品が当たる恒例の「抽選会」も開催します!ぜひお越しください。【問合せ】荒川区商店街連合会 (TEL)03-3803-3003



## 尾久の原公園シダレザクラ祭り 尾久の原スプリングフェスタを開催!

シダレザクラの名所である尾久の原公園で、第20回「尾久の原公園シダレザクラ祭り・尾久の原スプリングフェスタ」を開催します。毎年恒例の「お楽しみ抽選会」の1等景品は3万円の区内共通お買い物券です。ぜひお越しください!



日時 3月28日(土)10:00~15:00  
※雨天時は翌日3月29日(日)順延 ※順延日が荒天の場合は中止

会場 都立尾久の原公園

※「お楽しみ抽選会」抽選券の配布数には限りがあります  
※詳細は会場内で配布するチラシや下記ホームページからご確認ください  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a043/koen/hana/shidarezakuramatsuri.html>  
1 尾久の原公園シダレザクラ祭りに関して  
尾久の原公園シダレザクラの会事務局(荒川区役所内)  
(TEL)03-3802-4483  
2 尾久の原スプリングフェスタに関して  
産業振興課 商業振興係 (TEL)03-3802-4674



## 『モノづくり見学・体験スポット』 見学や体験ができる工房や店舗を募集!

区では、製造工程の見学やモノづくり体験ができる工場や店舗などを「モノづくり見学・体験スポット」として認定しています。認定された場合、受け入れのために行う施設改修などの費用の一部を補助します。ご応募をお待ちしています。  
※令和8年8月末(予定)~令和9年3月末までに完了する改修等が対象

### 【募集対象】

- 次のいずれかを満たす区内の作業所や店舗など
  - 「モノづくり」を体験できる
  - 「モノづくり」がテーマの展示品を公開できる
  - 製造工程等現場を公開できる
- ※法人・個人は問いません



補助率 補助対象経費の2/3(限度額100万円)

申込書の配布 ※下記荒川区ホームページからダウンロードしてください  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/kankoleisure/kankou/monosporobosyu2026.html>



募集期間 4月1日(水)~5月29日(金) ※持参または郵送

申込み・問合せ 観光振興課 ※事前にご相談ください  
〒116-8501(住所不要)荒川区役所6階 観光振興課  
(TEL)03-3802-4689 [e-mail]kankou@city.arakawa.lg.jp

#お知らせ

#制度改正

## 【4月30日までに】 家内労働の「委託状況届」をご提出ください

家内労働者へ仕事(内職など)を委託している事業者の方は、毎年4月1日現在の実施状況について「委託状況届」を労働基準監督署に提出することが義務付けられています。4月30日(木)までにご提出をお願いします。

問合せ

- 東京労働局労働基準部賃金課家内労働係 (TEL)03-3512-1614
  - 足立労働基準監督署 (TEL)03-3882-1188
- ※詳細は下記東京労働局ホームページからご確認ください  
[https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/hourei\\_seido\\_tetsuzuki/\\_110744/conttop\\_00002.html](https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/_110744/conttop_00002.html)



#参加者募集

## 【個人受講】【団体実施】 認知症サポーター養成講座をご利用ください

区では、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を見守る「応援者」を増やす取り組みを進めています。個人受講のほか、講師が事業所や団体に出向く「出張型講座」にも対応。ぜひご活用ください。

内容

DVD映像とテキストで、認知症の基礎知識と対応方法を学ぶ講座

申込み・問合せ

- 高齢者福祉課 介護予防事業係 (TEL)03-3802-4034  
 ※詳細は下記荒川区ホームページからご確認ください  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a028/koureishairyouninchishou/yoseikoza.html>



#参加者募集

## 【事業化チャレンジ道場】 新製品開発で新規事業を立ち上げる!

新製品の開発による新規事業立ち上げに関する一連のプロセスを習得し、自社の新たなビジョンの実現に向けて、挑戦する企業の皆さんをサポートするための事業化支援プログラムです。  
 ※ソフトウェアやビジネスモデルのみの開発などを支援するものではありません。



対象企業

都内で実質的に事業を行う中小企業

参加人数

1社3人まで

実施場所

大田区産業プラザPiO (大田区南蒲田1-20-20)

費用

1社7万円(税込)

応募締切

4月3日(金) ※選考のうえ、決定いたします。  
 ※応募要件などの詳細はホームページからご確認ください  
[https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/seminar/dojo\\_bosyu.html](https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/seminar/dojo_bosyu.html)



問合せ

公益財団法人東京都中小企業振興公社  
 城南支社 経営支援担当 (TEL)03-3733-6284  
 [問合せフォーム]  
<https://challenge-dojyo.com/contact/>



## 令和8年1月から「下請法」は 「中小受託取引適正化法(取適法)」に変わりました

令和8年1月から、下請法が改正され「取適法」として新たに施行されました。この改正で、中小受託取引の公正化と義務を受託する中小企業の利益保護が強化されました。

主な改正ポイント

- 適用基準に「従業員数」による基準を追加
- 協議に応じない一方的な代金決定の禁止
- 委託内容の明示が電子メールでも可能に。明示方法は委託事業者が選択できる
- 正当な理由なく代金を減額した場合、減額部分は遅延利息の支払対象になる

問合せ

公正取引委員会相談窓口  
 (TEL)0120-060-110 (平日10:00~17:00)  
 ※詳細は公正取引委員会ホームページからご確認ください  
[https://www.jftc.go.jp/partnership\\_package/toritekihou.html](https://www.jftc.go.jp/partnership_package/toritekihou.html)



#参加店募集

## 【魅力あふれる個店づくり事業:LANP】 専門家の経営相談・セミナーをご活用ください

区内に店舗を持つ商業・サービス業事業者を対象に、実践的な経営相談やセミナーを実施するほか、情報交換などをお手伝いしています。ぜひご活用ください!

実施内容

- 実践的な経営診断、販売促進やIT活用への助言
- 実践的な販売促進セミナー など

LANP  
コーディネータ  
紹介

泉 雄太 (中小企業診断士)  
 大手アパレルやカレー店で店長を務めた、現場叩き上げの中小企業診断士。「現場・現物・現実」に即した実践的な経営診断と助言を行います

申込み・問合せ

産業振興課 商業振興係 (TEL)03-3802-3376  
 ※下記荒川区ホームページからお申し込みください  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a020/jigyousha/jigyounuei/lanpbosyu.html>



表敬訪問

## 木村篤義氏が 「旭日双光章」を受章



永年にわたる印刷産業の振興・発展への尽力、特に中小印刷業の環境対策、労働安全衛生や経営力の向上に関する功績により「旭日双光章」を受章された、株式会社ソウブン・ドットコム会長 木村篤義さんが、1月8日(木)、滝口区長を表敬訪問しました。

※旭日双光章は、主に公務、学術、文化、産業などの分野で顕著な功績を挙げた個人に国から授与されるものです。



左から滝口区長、木村篤義さん

## 荒川区中小企業景況調査

- ◎ 区が区内中小企業200事業所を対象に実施した調査結果です。
- ◎ 景況調査と併せて賃上げ実施状況についても調査しました。
- ◎ 調査時点は令和7年12月下旬。回収数は163事業所、回収率は81.5%でした。

■ 今回の調査結果

- 1【業況判断DI】** ▲22.8(前回調査▲31.2)と改善。次期は▲26.1とやや悪化の予想です。
- 2【売上状況】** 前期に比べ「あまり変わらない」45.6%、「減少した」30.6%、「増加した」23.8%となりました。
- 3【賃上げ実施状況について】** 「既に実施した(令和6年、7年ともに)」33.3%、「予定はない」30.0%、「検討中である」18.0%、「既に実施した(令和6年のみ)」6.7%、「既に実施した(令和7年のみ)」6.0%、「今後予定がある」4.7%、「その他」1.3%となりました。
- 4【賃上げを実施する主な理由について】** 「従業員のモチベーション確保、雇用維持のため」29.0%、「物価上昇を踏まえた従業員の待遇改善のため」29.0%、「最低賃金が引き上げられたため」16.1%、「人材確保、人材採用のため」14.8%、「業績が上昇したため」9.0%、「その他」1.9%となりました。
- 5【賃上げ原資確保のための取り組みについて】** 「商品価格、サービス価格の改定」32.0%、「新たな販路の拡大」24.8%、「人件費以外の経費の削減」18.5%、「設備投資等による生産性の向上」9.0%、「助成金等賃上げを支援する制度の活用」7.7%、「特になし」7.7%、「その他」0.5%となりました。

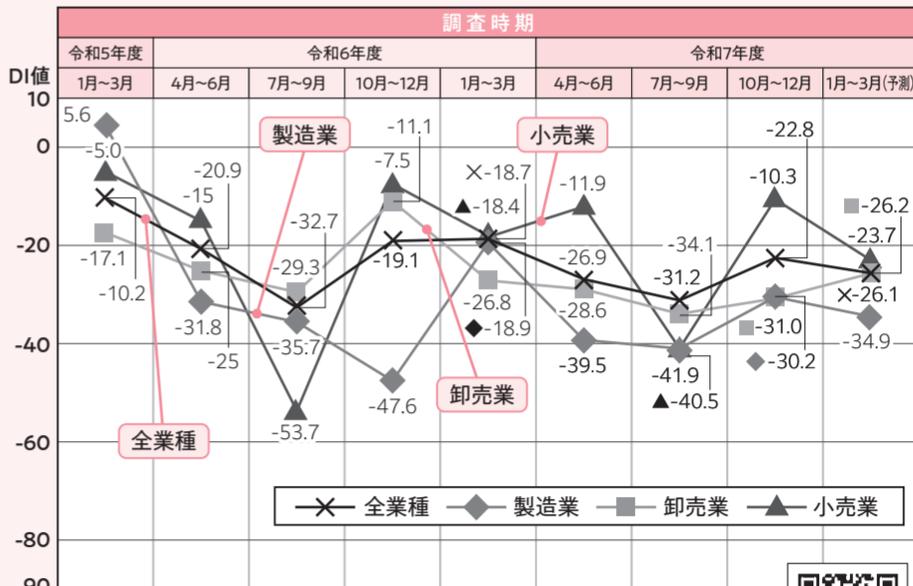
【問合せ】産業振興課 管理係 (TEL)03-3802-4672

荒川区景況速報

検索

## 令和7年度第3四半期(令和7年10~12月)

【全業種・製造業・卸売業・小売業の業況の推移】



荒川区ホームページから景況報告の詳細・バックナンバーをご覧いただけます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a020/sangyou/sangyoushinkou/20200120.html>



# プロの一途

モノづくりの現場から

このコーナーは区内のモノづくりの現場を訪ね、プロのモノづくりへの姿勢や一途な思いを伺うコーナーです。今回は「東京TASKものづくりアワード2025」で奨励賞を受賞した企業を訪ねました。

## 【東京TASKのご紹介】

東京TASKは、台東区・荒川区・葛飾区が3区合同で、モノづくり企業の新しい挑戦を支援するプロジェクトです。東京TASKものづくりアワードを毎年開催しています。



代表 矢倉龍一さん

## 「東京TASKものづくりアワード2025」奨励賞受賞 shiro

### 素材と細部にこだわった靴職人の革製品

「正直、賞を取れるとは思ってなかったんです」と矢倉さん。今回、革靴作りで培った技術を凝縮した革財布「mini wallet」で奨励賞を受賞。小ぶりながら必要十分な収納力を備え、手の動きを想定して作り込んだ逸品で高い評価を獲得しました。

矢倉さんは学校卒業後、アパレル販売員として働く中で、作り手の思いや技術が見えにくい製品販売に疑問を抱きます。「自分で手がけたものを届けたい」と決意し、靴作りの道へ進みました。2014年に浅草の製靴専門学校に入学し、翌年には作り上げた靴で「日本シューズベストドレッサー賞・クラフトマン部門」でグランプリを受賞。その後、卒業制作でお世話になった恩師の工房に就職し、製作や修理に携わりながら技術を磨き、ブランド運営の実務も学びました。2017年12月に独立し、店舗兼工房の「shiro」を開業。現在は、革靴や革小物の製造・販売、修理を手がけています。

工房で主に使用するのは、上質な色と香りを持ち、しなやかで丈夫なイタリアンレザー。「革は一枚ごとに質感や伸び方が違い、その個性を見極め、どう生かすかが大切です」と言います。靴作りでは「神は木型に宿る」という恩師の教えを胸に、履き心地を左右する木型製作に力を注いできました。見えない部分まで丁寧に仕上げる姿勢が、長く愛される一足につながっています。2月には「革靴の入り口」となる手に取りやすい価格帯の新作を発表。革靴の魅力をより多くの人に届ける取り組みを続けています。



革靴作りの様子

設計の段階から「耐久性が劣りにくい構造」を常に意識。製作では、天然素材である革の個性を裁断時に見極め、各工程に時間をかけて一針一針丁寧に仕上げています。



革靴の木型

ベースのAの木型を手作業で制作し、工場でのBの各サイズの樹脂製ラストを作ってもらいます。その後、ラストを微調整しながら各お客様に合った一足を作り込んでいきます。

## 奨励賞受賞製品 mini wallet

### 最小サイズで十分な収納力を実現

mini walletは、人気商品「Baby wallet」の全体が大きく開く特徴を生かしつつ、紙幣・硬貨・カードを全て入れられる「最小サイズの革財布」を作りたくて、試行錯誤の末に生まれた作品です。小さいながらボタンを開けたときに中身が一気に見渡せる点や、紙幣を折り曲げずに背面に滑り込ませて入れられる点を重視。財布の修理で最も多い糸目のほつれを防ぐため、手が触れる部分に糸目がこないように工夫しました。こうした細部まで突き詰めた構造の構築や、型紙作りにとっても苦労したそうです。



カード入れ  
小銭入れ  
交通系カードなどを入れるのにおすすめ  
お札を折らずに入れます



- 1 革靴は男女の大人用サイズを展開。ベビー用のファーストシューズもあり、区のふるさと納税の返礼品にもなっています。
- 2 左が人気のBaby wallet(財布)、キーホルダーや靴べらなどの革製小物も販売。「モノフェス in にっぽり」などの地域イベントにも出店し、手作りの革小物の魅力を発信しています。
- 3 職人の手仕事を支える専門機材。立体的な縫製に欠かせない「腕ミシン」や、靴底の削り込みや研磨などに利用する高さ160cmもの大型修理機が、一足一足に命を吹き込みます。
- 4 店舗兼工房の外観



【問合せ】shiro (住所)荒川区西尾久3-16-14 藤崎ビル1F (TEL)03-6877-1106 (公式サイト) https://kutsuya-shiro.com

# モノづくりブランド 「ara!kawa」

## 新たな認定商品が決定！

確かな技術と優れたデザインに基づく高い品質の製品を認定する「モノづくりブランド ara!kawa」。新たに3商品が認定され、1月20日(火)、第4回の認定商品発表会が、ゆいの森あらかわで開催されました。



## mini wallet (ミニウォレット) | shiro |



### 上質さと使い勝手、収納力を徹底的に追求したコンパクトな革財布

しっとりしたイタリアンレザーが使うほど手になじみ、美しくエイジングするのも大きな魅力。区のふるさと納税返礼品でもあります。(詳しくは上段の記事をご覧ください)

## 思い出のミニランドセル | 梅田皮革工芸 |



### 荒川マイスターによる約1/4サイズのリメイク・ミニランドセル

6年間の思い出が詰まったランドセルをミニサイズにリメイク。高い技術で、元の素材を最大限に再利用しながら、いつまでも手元に置いておきたくなる「かわいさ」を実現しました。

## 苔プリ® | モノ・インターナショナル株式会社 |



### 国産の苔を特殊プリザーブド加工して作られたテラリウム

本物の苔に特殊な保存加工を施しており、水やりや環境管理が数年間不要。従来の苔テラリウムより枯れにくく、新鮮な苔と見分けがつかない繊細な美しさを長期間楽しめます。

【問合せ】経営支援課 経営支援係 (TEL)03-3802-4808

【発行】荒川区産業経済部  
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3 荒川区  
(TEL)03-3802-4672 (FAX)03-3803-2333  
(e-mail)sangyo@city.arakawa.lg.jp

■ 荒川区ホームページ  
https://www.city.arakawa.tokyo.jp/  
■ あらかわ産業ナビが見られます！  
あらかわ産業ナビ 検索 OR



スマホやタブレットなどのカメラ機能やアプリを使って読み取ってください。

リサイクル適性 (この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。)

